

アスファルトフィニッシャ

 SUMITOMO

HA50W

Jpaver 2350



排出ガス2次規制対応型エンジン搭載



信頼の基本性能、充実のオプション。すべては、

STANDARD

1. J-paver2350スクリード

スクリードエクステンションなしで、容易に2.3~5.0mまで3連伸縮が可能。

2. 輸送幅2.5m以内の新スクリード

サイドプレート及びAGCセンサ元ブラケットをつけても、輸送幅2.5m以内。

3. 伸縮式モールドボード

リヤスクリードと連動してリヤスクリード前の合材の滞留を解消し、合材抱え量を一定に保ちます。しかも抱え量の調整も簡単にできます。

4. ブロー式加熱装置

熱風により、スクリードプレートを均等に加熱。

5. パワークラウン装置

クラウン量の調整はスイッチ操作で簡単。

6. パワー段差

リヤスクリードの段差調整がスイッチ操作で簡単。

7. 高機能ステップ

最大舗装幅5mまで対応できる高機能ステップ。

8. 独自のチルト式コントロールスタンド

コントロールスタンドはそのまま85°後方に倒すことができます。

9. パラレルドライブ4WD

速度コントローラによって前・後輪を同時に回転制御するパラレルドライブ方式を採用。

10. 自動ブレーキシステム

エンジン停止時およびミッション中立時は自動的にブレーキがかかり停止する安心設計。

11. ノンスピンデフ

スリップに強く不整地でも安定走行。

12. エンジンセーフティ機能

走行・コンベア・スクリューのスイッチが「入」になったままエンジンを始動させてしまっても、一度「切」にしないと作動しないセーフティ機能付回路。

13. 排出ガス2次規制対応型エンジン搭載

国土交通省'01基準(2次基準)の型式指定を取得しています。

14. 低騒音型建設機械

国土交通省'97基準(新基準)の型式指定を取得しています。



J-Paver 2350 スクリード



伸縮式モールドボード



ブロー式加熱装置



パワー段差

頂点へ。

常に独創的なメカやシステムで進化しつづける
住友のアスファルトフィニッシャー。
高性能3連スクリード〈J-Paver 2350〉を搭載して
「HA50W」がデビューしました。
すべてが高次元の作業能力を身に付け、
ハイレベルの舗装精度が可能に。
住友は常に頂点をめざします。

J-Paver 2350

高次元のパフォーマンスのために。

OPTION

- 1. 超音波式グレードコントローラ**
舗装厚さ自動制御し、デジタル表示。大幅な省力化を実現。
- 2. 超音波式合材フローコントローラ**
合材送りを自動化し、省力化と舗装平坦性向上を実現。
- 3. 折りたたみ式キャノピ**
グラスファイバー製。オペレートポジションに合わせてチルトが可能。
- 4. カラー液晶モニタ&カメラ**
スクリード上での前方の安全確認およびホッパ内の合材量確認に便利。



超音波式グレードコントローラ



超音波式合材フローコントローラ



高性能3連スクリーンを搭載、 先進のテクノロジーが高效率作業を実現。

剛性の高い本格5m対応の 新スクリーンを採用。

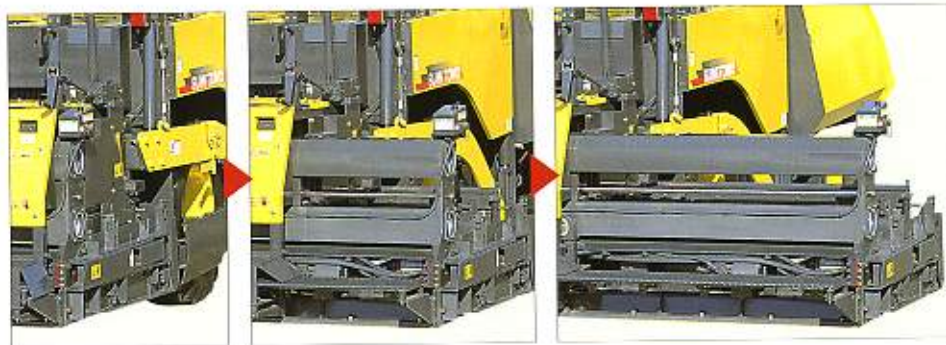
新型スクリーンは、舗装幅5mまで対応しています。このスクリーンはフレーム剛性を高めると共に、ガイドパイプサイズをアップし、縦型に配置してスクリーンの端部跳ね上がりを抑え、端部まで均一な施工厚さが得られます。またフロントスクリーンはマイナスクラウン可能な中央分離式です。



3連伸縮で5mまでワンタッチ伸縮が可能な新スクリーン〈特許出願中〉

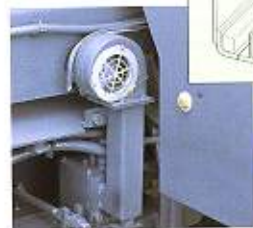
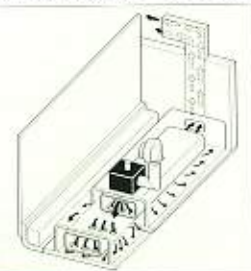
スクリーンエクステンションなしで容易に2.3mから5.0mの間で3連で伸縮できるスクリーンを開発しました。従来のニュースイングスクリーンでは、施工幅が極端に変化するとスイングエクステンションを油圧にて張り出し格納作業を行う必

要があり、連続性に欠けるとい点がありました。また3段伸縮スクリーンでは、3段目スクリーンの強度不安、舗装品質（仕上がり、密度）に弊点がありました。それらを見事に克服しました。



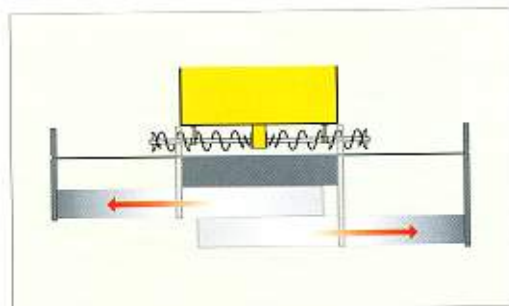
スクリーンプレートを均等に 加熱するブロー式加熱装置

スクリーンの加熱はブロー加熱による熱風により、スクリーンプレートを均等に加熱しますので、舗装スタート時より均一化された新装面となります。また、加熱時間が短くLPG消費量が少なくなりました。温度センサを装備し、最適な温度になったことをランプで表示します。



各種アタッチメントをつけて輸送幅 2.5m以内におさまる新スクリーン

他社のスクリーンを含め従来のスクリーンは、サイドプレート及びAGCセンサブラケットを取り付けると、輸送限界幅を超えていましたが、このスクリーンはサイドプレート及びAGCセンサブラケットを取り付けた状態で、輸送限界幅2.5m以内におさめることができました。そのため、輸送時にトレーラの幅からはみ出ることはありません。



舗装幅2.3m~最大5.0mまで3連伸縮



合材送りを自動化する、 超音波式合材フローコントローラ (オプション)

超音波センサにより合材供給量の過不足を感知して自動的にスクリー回転を制御するため常時最適にスクリード前の合材量を調整します。これにより、スクリード前の合材量が均一となりスクリードの合材反力が一定となるため舗装の平坦性が向上します。また、オペレータを煩わしい合材送り操作から開放、ワンマン運転が容易になりました。



緊急時に加熱装置(プロパンガス)を 自動的に止める機能装備 (特許出願中)

本加熱装置ではプロアの回転を検出し燃焼中にプロアが何らかの原因で停止したら、その回転検出信号を利用してガスの電磁弁を閉めます。そうすることによってプロアが停止しても炎がたちのぼることが無くなりました。

舗装高さを自動制御・デジタル表示する(温度補正機能付) 超音波グレードコントローラ(オプション)

操作が簡単で、しかもデジタル表示を確認しながらリモコンにより1mm単位で舗装高さの設定、調整ができます。制御方式が高精度な仕上げを約束する平坦性優先方式、また超音波式のためグリッドやショートスキーの取付や調整は不要となります。また、緑石や水系など基準面からの距離

離を超音波にて測定して制御するため簡単に設定ができショートスキーの様に石などに乗り上げて狂うこともありません。さらに、温度補正機能がついているため、合材等の温度に影響されません。



・トキメック社製 超音波センサ



・トリンプル社製 超音波センサ



・ゼムコ社製 コンビグレードセンサ



・ゼムコ社製 ソニックスキーセンサ



・ゼムコ社製 接触式センサ

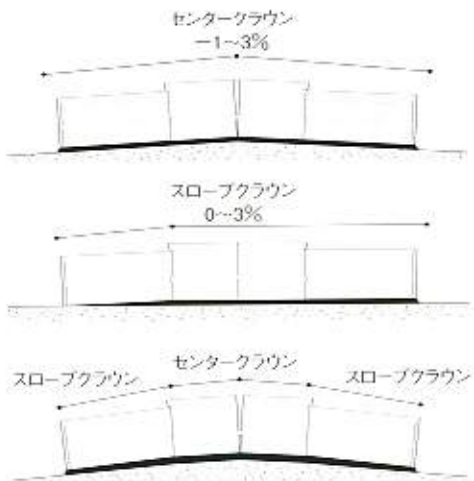
センサの組合せ

- ・G+S グレードセンサ1・スローブセンサ1
- ・G+G グレードセンサ2
- ・G+G+S グレードセンサ2・スローブセンサ1

充実のスクリード関連機能。 高度な柔軟性で様々な路面に対応します。

スロープクラウンで 路肩への摺り付け作業も簡単

リヤスクリードにスロープクラウン機構を採用。スロープ量を0%~3%の範囲でセット可能です。センタークラウン量も1%~3%までセットできます。これにより、路肩への摺り付け作業が簡単にでき、リヤスクリードのはね上がりにも対応できます。



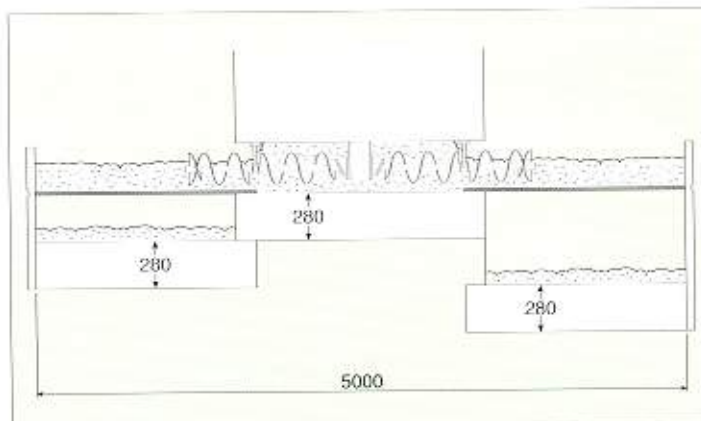
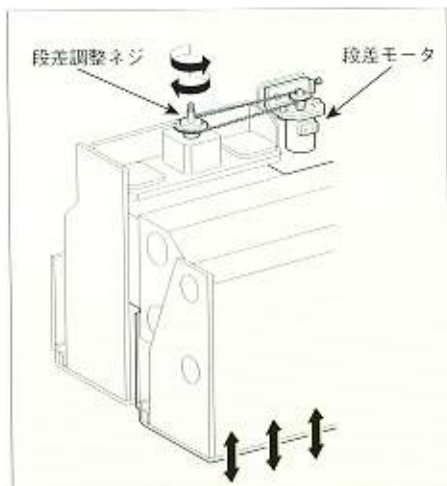
簡単操作で迅速に段差調整ができる 「パワー段差」を標準設定

フロントスクリードとリヤスクリードの舗装面上の段差を修正し、段差による仕上面上の精度はもとより、合材に対するフロント、リヤスクリード面圧をできるだけ均等にして均質な舗装体にするパワー段差を設定。スイッチ操作でコントロールできます。急激な舗装厚変更を要する縦方向への摺り付け作業時などにおいても迅速に段差を調整できます。



合材抱え量を一定に保つ 伸縮式モールドボード

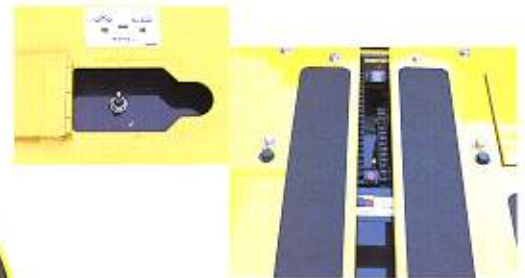
この伸縮モールドボードは、段差調整、スロープクラウン調整を行ってもフロントスクリード板からの高さを変化せず、合材の抱え量を一定に保つことができます。また、合材の種類が変わっても、伸縮モールドボードの調整で抱え量をほぼ一定に保つことができます。





操作が楽なワークラウン装置を標準装備(実用新案取得)

油圧式ワークラウンの採用によりクラウン量の調整はスイッチ操作で簡単に行えます。これにより、クラウン操作が連続してスピーディにできるため山道などの曲がりくねった道路の施工において作業効率が大きく向上します。



高剛性のスクリード及び高張力鋼板の採用により 上層路盤材施工に対応

2本タイプのターンバックルでネジレ剛性を高め、フレーム剛性をアップ。しかもフロント/リアの軸を同じサイズにして仕上がりを向上させた新スクリードを採用。さらに、上層路盤材施工に対応するためスクリード板には従来より耐久性の高い高張力鋼板を採用しました。

スクリーウの耐久性を向上

スクリーウは耐摩耗鋳鋼の一体羽根構造で羽根の耐久性向上を図り、軸受は無理のかからない自動調芯の耐荷重の高いベアリングを採用。また、ラビンスシールとダストシールによって異物侵入を防止しているため長寿命が図れます。

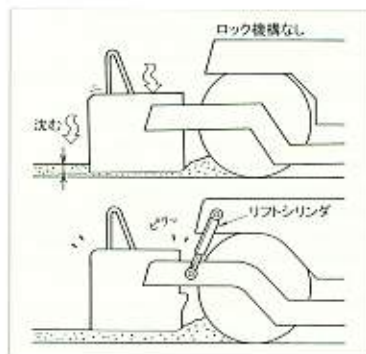


強力で均一な締固めができるタンバ&無給脂パイブレータ

締固めは、無給脂のパイブレータ仕様(V仕様)と油圧モータ直結駆動式のタンバ/パイブレータ併用仕様(TV仕様)の2種類が選択可能です。合材の種類による締固めの調整も回転計(V仕様のみオプション/TV仕様は標準)を見ながら可能です。

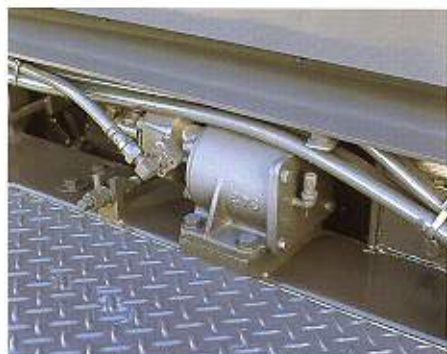
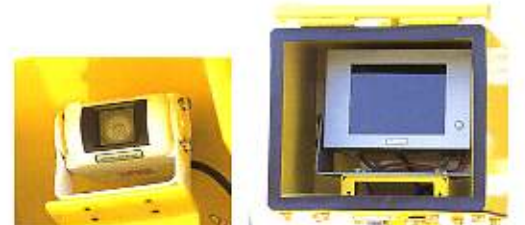
オートスクリードロックとソフトスタート機能

合材待ちなどで舗装作業を一時停止する場合、自動ロック装置が働きリフトシリンダによってシリンダが確実に保持されます。再スタート時は、ソフトスタート機能によってスクリードマークを付けることなく発進できます。



前方およびホッパ内確認に便利なカラー液晶モニタ&カメラ(オプション)

スクリード部での運転時に便利なカラー液晶モニタ&カメラを設定。ホッパ前方の人の動きや合材の状態をひと目で確認できます。このモニタは、後方にチルトした運転パネルとセットで並べて装着するため安全確認をしながらの操作ができます。



無給脂パイブレータユニット



TV回転計

様々な施工条件をトータルにサポート。 操作性や足廻りにも最先端のテクノロジー

パワーステアリング&ステアリングインジケータを装備

操作の軽い油圧式パワーステアリングを装備。ハンドルはノブ付で片手で簡単に操作できます。また、前輪の方向がひと目で確認できるステアリングインジケータをコントロールパネルにセット。よりの確かなハンドル操作ができます。



独自のチルト式コントロールスタンド

コントロールスタンドはそのまま85°後方に倒すことができるチルト式。スクリーンステップに乗りながら、舗装作業に必要なすべての作業が可能になりました。



スクリーン部集中コントロール

左右のリヤスクリーンにスクリーン伸縮コントロール、シックネスコントロール、高速撤出しスイッチを装備。3連伸縮スクリーンの採用により、舗装幅端部(最大5m)でのレーキマンによる操作も可能となりました。また、急なアクシデントに備えて、エンジンを緊急停止する非常停止スイッチを計器パネルにはもちろん、リヤスクリーン左右のスクリーン集中コントロールボックスにも装備しました。

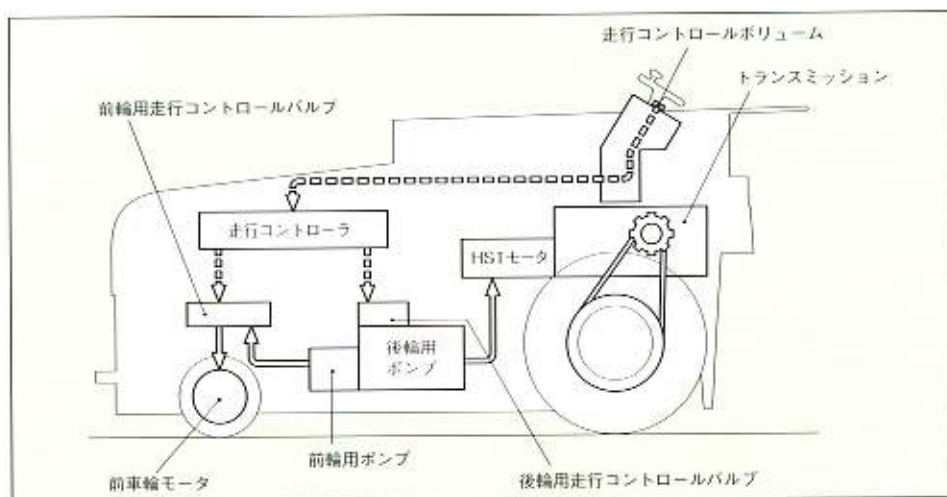


パラレルドライブ4WD方式により 前・後輪がまったく同時に回転スタート

速度コントローラによって前・後輪を同時に回転制御するパラレルドライブ方式を採用。駆動力を要するスタート時も前・後輪がまったく同時に回転スタート。片輪スリップが解消され、負荷に応じた強力な牽引力で常に安定した走行を約束します。

走行2速モータの採用により 抜群の低速安定性を発揮

パラレルドライブ方式とともに、走行2速モータを採用。負荷変動に対し抜群の低速安定性を実現。舗装精度を大きく高めました。



を採用。



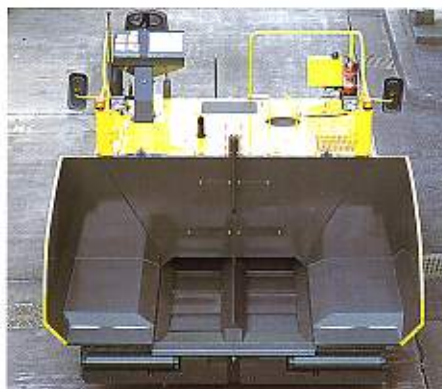
5m幅いっぱいまで広がるステップ

スクリードのステップは5m幅いっぱいには本格的なステップを設置し施工幅端部で良好な視界が得られ、施工幅をスイッチにて操作し確実に変更することができます。また、施工端部からのステップへの乗り降りが容易にできます。



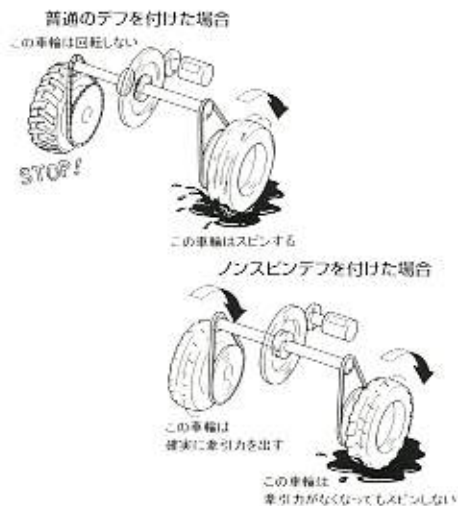
ホッパはダンプトラックの可動式リヤバンパーに対応

ダンプの保安基準リヤバンパーに対応して、ホッパフロント部は地上高476mmと低く、両サイドフロント部も低床式のため、改造することなく容易に接車できます。ホッパ容量は8tと余裕があり、合材を受けやすく、こぼれも減少できます。



スリップに強いノンスピンドーフで、不整地でも安定走行

ノンスピンドーフを装備し、不整地で片輪が駆動力を失いスピン状態になっても、もう一方の片輪に駆動力を確実に伝えて走行を維持します。



セーフティシステムと低騒音設計。 安全性と環境性は人と周囲にも配慮してい

街にやさしい低騒音設計 (低騒音基準クリア)

住宅地や市街地、さらに夜間の工事に対応してエンジン音を低く抑えた低騒音・低振動エンジンを搭載。



排出ガス2次規制対応型エンジン搭載

国土交通省基準に対応した高出力エンジンを搭載。低速トルクが豊かで負荷による回転変動が少なく、しかも騒音・振動を低く抑えた排出ガス2次規制対応エンジンです。



エンジン自動ブレーキシステムを装備

エンジン停止時やミッション中立時に自動的にブレーキが作動しますので駆動系の伝達が遮断されても移動することはありません。これにより、坂道で停車時に駐車ブレーキを操作せず放置して駆動系の油圧がリークし、機械本体が移動する心配はなくなりました。

エンジンセーフティ機能 (実用新案取得)

エンジン始動時に走行・コンベア・スクリューのスイッチが「入」になっていても一度「切」にしないと作動しないセーフティ機能付回路を装備しています。

非常停止スイッチ

急なアクシデントにそなえ、エンジンを緊急停止する非常停止スイッチを左右スクリーン部集中コントロールボックスに各1ヶ所、メインコントロールスタンドに1ヶ所設けています。



輪止め



サービスモニタを装備

機体のコンディションが一目でチェックできるサービスモニタをコントロールパネルに装備。



スクリーンの給脂箇所を大幅に削減

合金のたまる個所・ラップ部の数も半減、パイプレータの無給脂(オイル交換1,500時間毎)と共に、スクリーンの給脂箇所を大幅に削減し、メンテナンス性を向上させました。



整備に便利なフルオープンサイドカバー

サイドカバー、フロアカバーはすべて簡単にオープンでき、メンテナンスが楽にできます。



OPTION

輸送時にも便利な折りたたみ式キャノピ

グラスファイバー製の折畳み式キャノピは、チルトによりフロア上およびスクリーンステップ上のオペレーターポジションに合わせて設定することができます。



ホッパ内を監視できる、 合金監視ミラーを設定

ホッパ内監視ミラーをオプション設定。スクリーンステップ上でも、ホッパの状況を監視できます。

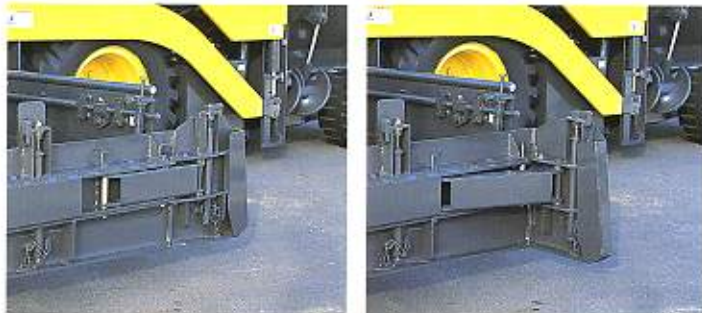


ます。



サイドプレートによる敷き均しが調節可能

サイドプレートの開度が調整でき、現場に適した敷き均しが選択できます。また、うす型サイドプレートを採用し、両サイドの舗装残しを減少させました。



折りたたみ式リティニングプレートを採用 (特許申請中)

リティニングプレートの取付を折りたたみ式にし、開閉、収納をワンタッチで行えるようにしました。



延長スクリュー置き

延長スクリュー設置ブラケットを左右前申輪後方に装備しました。



収納に便利な工具入

専用工具入れボックスをオペレータシートフロア部に装備。



スコップ掛け



便利なバール缶掛けホルダー



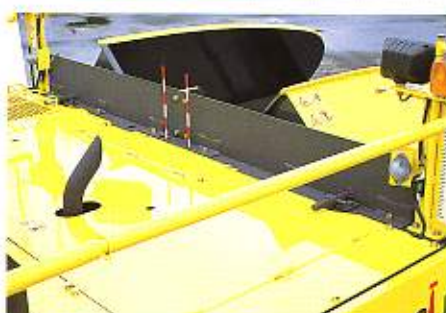
シックネスハンドル



走行指針照明灯



フロア部合材止め板



ホッパ部合材止め板(ゴム製)



■主要仕様

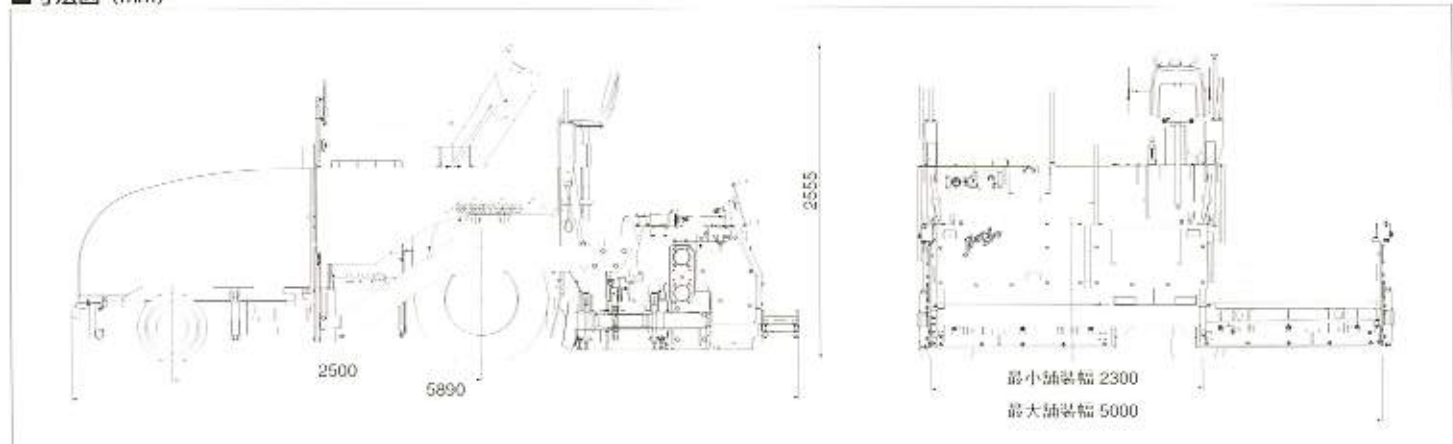
幅 員	標準 (伸縮幅)	m	2.3~5.0無段階
	舗装厚	mm	10~150
舗 装 能 力	舗装速度	m/min	2~12
	ホッパー容量	ton	8
	クラウン量	%	-1~3
	質量	kg	10660 (V)・10800 (TV)
本 体	全長	mm	5890
	全幅	mm	2490
	全高	mm	2555
	輪距(前輪/後輪)	mm	2110/1970
	タイヤ		前輪22×14×16 (ソリッド) 後輪13.5-20-20PR
	最小回転半径	m	6.9
	駆動形式		油圧 (2連式)
コ ン ベ ヤ	幅×列	mm	516×2
	速度	m/min	0~18
スクリー	寸法	mm	直径300 ピッチ300
	回転数	min ⁻¹	0~59
スクリー	スクリードプレート幅	mm	主部280 伸縮部280
	ストライクオフ	mm	主部61 伸縮部61
	加熱装置		フロアバーナ (4基)
	舗装厚調整形式		リモコン・手動
	伸縮機構形式		1段パイプ×2
	締固機構形式		油圧タンバ・パイプブレーク/油圧パイプブレーク
	バイブレーク振動数	Hz	0~59
	タンバ回転数	Hz	0~23
	タンバストローク	mm	3
	段差調整機構		油圧駆動
走 行 装 置	形式		ホイール式
	走行駆動方式		前輪油圧モーター・後輪HST
	ブレーキ形式		ディスクブレーキ
	移動速度 前/後	km/h	0~15/0~15
	メーカ・形式		いすゞ4JG1T
エ ン ジ ン	総排気量	cc	3059
	定格出力	kW/min ⁻¹	55.9/2150
	最大トルク	N・m/min ⁻¹	260/1800

※本表の単位は国際単位系によるSI単位表示です。

■オプション

折りたたみ式キャノピ	走行指針照明灯(60W)	超音波AGCセンサ&ブラケット
ホッパー部合材止め板(ゴム製)	両シックススイッチ	接触式AGCセンサ&ブラケット
フロア部合材止め板	合材フローコントローラ(超音波式)	ソニックスキーセンサ&ブラケット
ホッパー部差込銘板	サイドプレート(開閉無)	コンビグレードセンサ&ブラケット
ホッパー内監視ミラー	V回転計	カラー液晶モニタ&カメラ

■寸法図 (mm)



- ・カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがあります。
- ・掲載写真の色は印刷の特性上、実物と異なる場合があります。
- ・掲載写真は必ず仕様と 部異なる場合があります。
- ・本機の使用にあたっては取扱説明書を必ずお読みください。
- ・掲載写真はカタログ用にホースをつけて撮影したものです。
- ・掲載写真の裏面・裏面裏面の二枚は、千葉技術研究所 043-420-1549 名古屋技術研究所 0566-35-1311 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心がけて下さい。

お問い合わせは・・・

住友建機株式会社

住友建機販売株式会社

〒141-8686 東京都品川区北品川5-9-11(住友重機械ビル) ☎03-5421-8532
 北海道統括部 ☎011-765-5756 中部統括部 ☎0562-48-5200 中国統括部 ☎062-941-5100
 東北統括部 ☎022-288-0901 関西統括部 ☎072-653-4320 九州統括部 ☎092-934-0058
 関東甲信越統括部 ☎0480-23-0901

■パイプブレークの裏面・裏面裏面の二枚は 千葉技術研究所 ☎043-420-1549 名古屋技術研究所 ☎0566-35-1311

住友建機製造株式会社

〒263-0001 千葉県千葉市稲毛区長沼原町731-1 ☎043-420-1500

ホームページアドレス <http://www.sumitomokenki.co.jp>

